

2025年9月19日
マーケティング部

商工中金景況調査

2025年8月調査結果(定例分)



人を思う。未来を思う。

商工中金

1. 目的・調査事項	●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握 ●調査事項 (1) 景況感 今月及び先行き (2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き (3) トピックス（中小企業の人材戦略について(仮題)） ※トピックス調査分は2025年10月中に公表予定
2. 回答期間・調査頻度	●回答期間 2025年8月15日～9月1日 ●調査頻度 概ね四半期毎（初回調査：2020年2月）
3. 対象企業	商工中金の取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数 2,432社 （アンケート依頼数 3,990社、回答率 61.0%）
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 マーケティング部（齊藤） TEL：080-7005-9380

調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
製造業		1,093	44.9	非製造業		1,339	55.1
	食料品	133	5.5		建設業	77	3.2
	化学	85	3.5		卸売業	382	15.7
	鉄・非鉄	94	3.9		小売業	190	7.8
	印刷業	50	2.1		運輸業	382	15.7
	金属製品	180	7.4		飲食・宿泊	113	4.6
	はん用、生産用、業務用機械	158	6.5		情報通信業	33	1.4
	電気機器	81	3.3		その他非製造業	162	6.7
	輸送用機器	122	5.0				
	その他製造業	190	7.8				
合計						2,432	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある（以降頁同様）

調査回答企業の属性（地域別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
	北海道	66	2.7	北陸		106	4.4
	東北	188	7.7	近畿		381	15.7
	関東	695	28.6	中国		188	7.7
	甲信越	156	6.4	四国		90	3.7
	東海	294	12.1	九州・沖縄		268	11.0
全地域						2,432	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある

地域区分：東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、神奈川）、
甲信越（山梨、長野、新潟）、東海（静岡、愛知、三重、岐阜）、北陸（富山、石川、福井）、
近畿（大阪、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、
四国（香川、徳島、愛媛、高知）、九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

1. 景況感

～8月の景況判断指数は「悪化」超が継続

<2025年8月の景況感>

3期連続「悪化」超であるものの、前回比「悪化」超幅は縮小

今月の景況判断指数（全産業）は47.7

（前回比+1.2%ポイント）

先行きの景況判断指数は48.5

（今月比+0.8ポイント）

8月・・・「好転」11.8%、「不変」71.8%
「悪化」16.4%

先行き・・・「好転」13.5%、「不変」69.9%
「悪化」16.5%

注1）景況判断指数の算出式

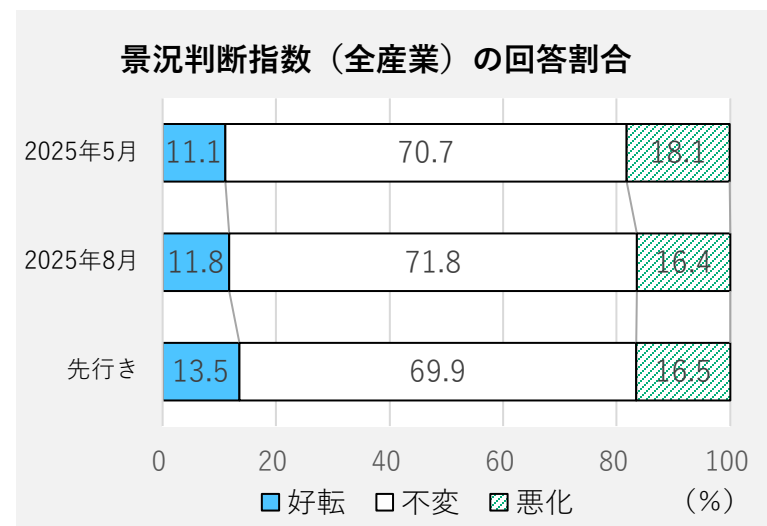
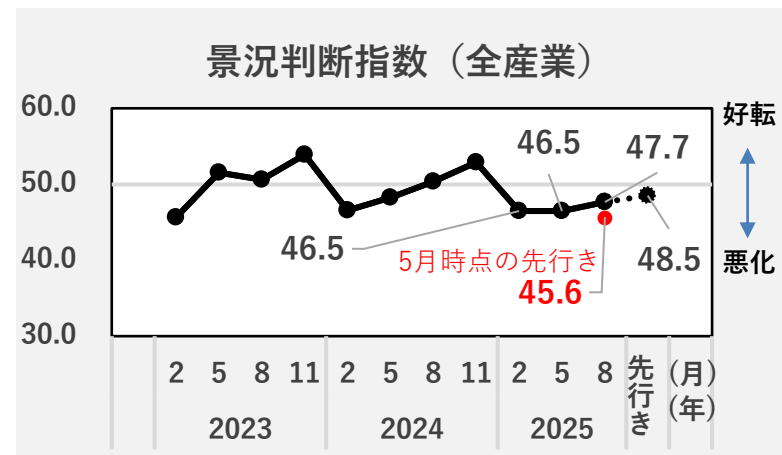
景況判断指数 = $\left(\text{好転企業数} \times 1 + \text{不変企業数} \times 0.5 + \text{悪化企業数} \times 0 \right) \div \text{当該設問への回答企業数} \times 100$

指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲0.0 ≦ 景況判断指数 ≦ 100.0

注2）景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢＝「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。

※本調査の指数・DIは季節調整をしていない。

※各項目の比率は四捨五入より表示しているため、合計値が100%とならない場合がある。



<2025年8月の景況感>

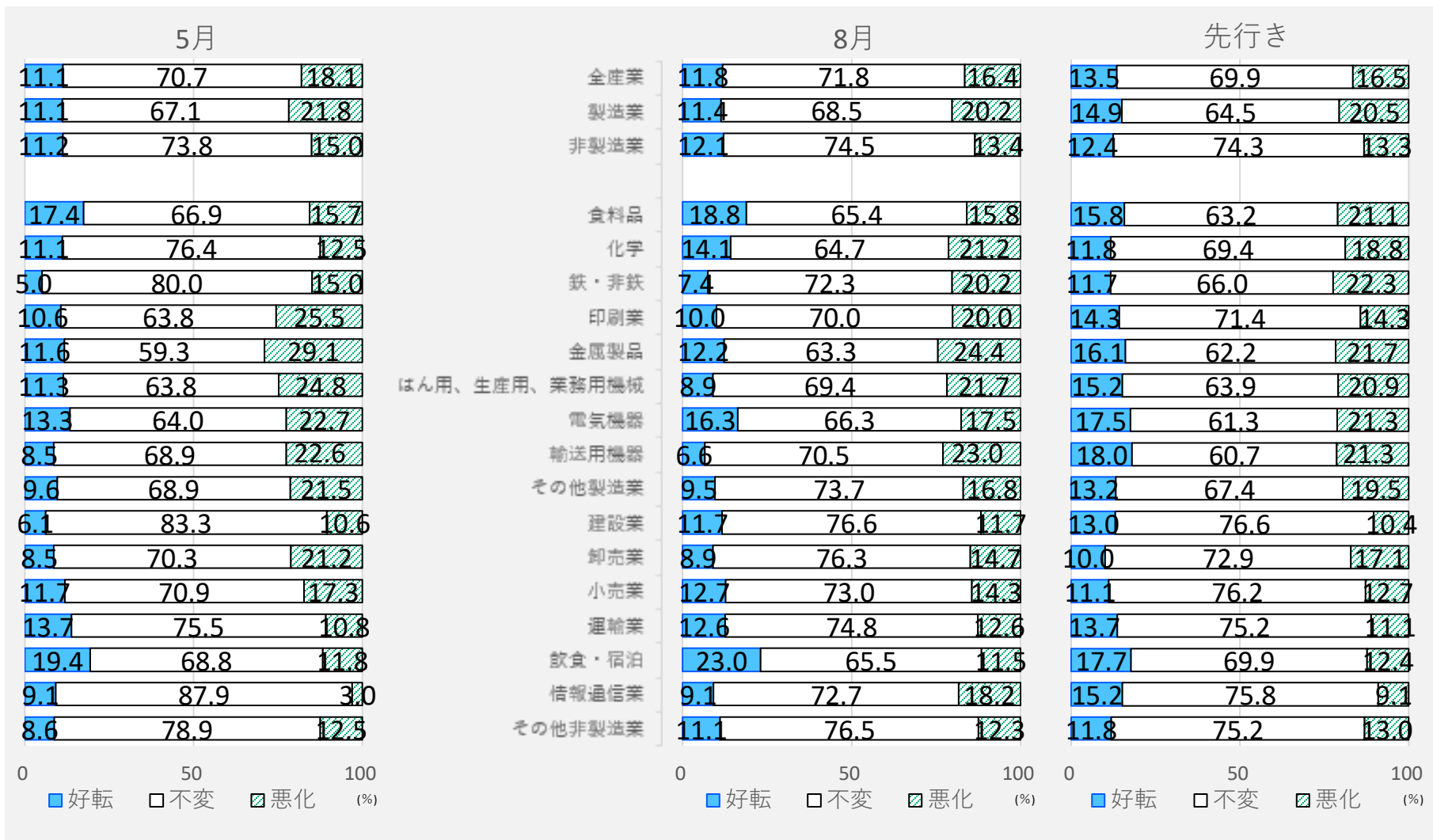
4業種を除き前回比「悪化」超幅が縮小

業種名	5月	8月 [5月時点の先行き]	(8月－5月)	先行き	回答数(8月)
全産業	46.5	47.7 [45.6]	+1.2	48.5	(2,426)
製造業	44.7	45.6 [44.7]	+0.9	47.2	(1,091)
非製造業	48.1	49.4 [46.3]	+1.3	49.5	(1,335)
食料品	50.8	51.5 [50.0]	+0.7	47.4	(133)
化学	49.3	46.5 [50.0]	-2.8	46.5	(85)
鉄・非鉄	45.0	43.6 [40.6]	-1.4	44.7	(94)
印刷業	42.6	45.0 [45.7]	+2.4	50.0	(50)
金属製品	41.3	43.9 [43.3]	+2.6	47.2	(180)
はん用、生産用、業務用機械	43.3	43.6 [42.2]	+0.3	47.2	(157)
電気機器	45.3	49.4 [45.3]	+4.1	48.1	(80)
輸送用機器	42.9	41.8 [40.6]	-1.1	48.4	(122)
その他製造業	44.1	46.3 [45.8]	+2.2	46.8	(190)
建設業	47.7	50.0 [51.5]	+2.3	51.3	(77)
卸売業	43.6	47.1 [42.5]	+3.5	46.4	(380)
小売業	47.2	49.2 [45.9]	+2.0	49.2	(189)
運輸業	51.4	50.0 [48.4]	-1.4	51.3	(381)
飲食・宿泊	53.8	55.8 [50.5]	+2.0	52.7	(113)
情報通信業	53.0	45.5 [46.9]	-7.5	53.0	(33)
その他非製造業	48.0	49.4 [46.5]	+1.4	49.4	(162)

(注) その他製造業は 紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品を含む。その他非製造業は 不動産・物品賃貸業、サービス業を含む。

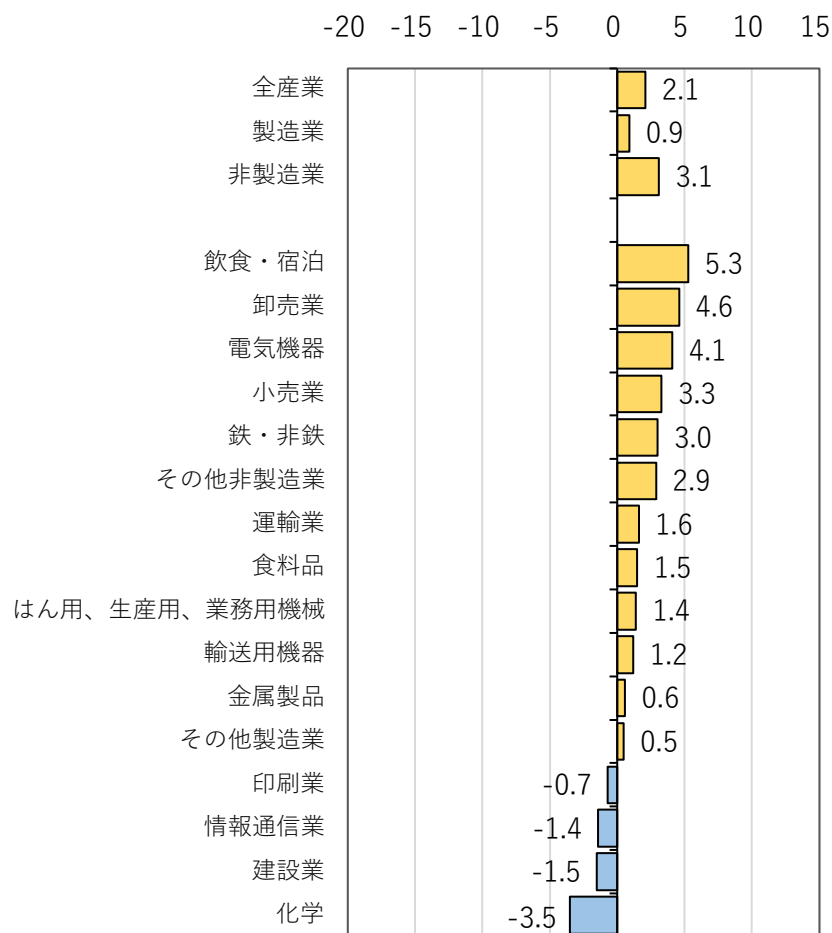
<2025年8月の景況感(業種別の回答構成比)>

全産業でみると先行きにかけて好転割合は増加

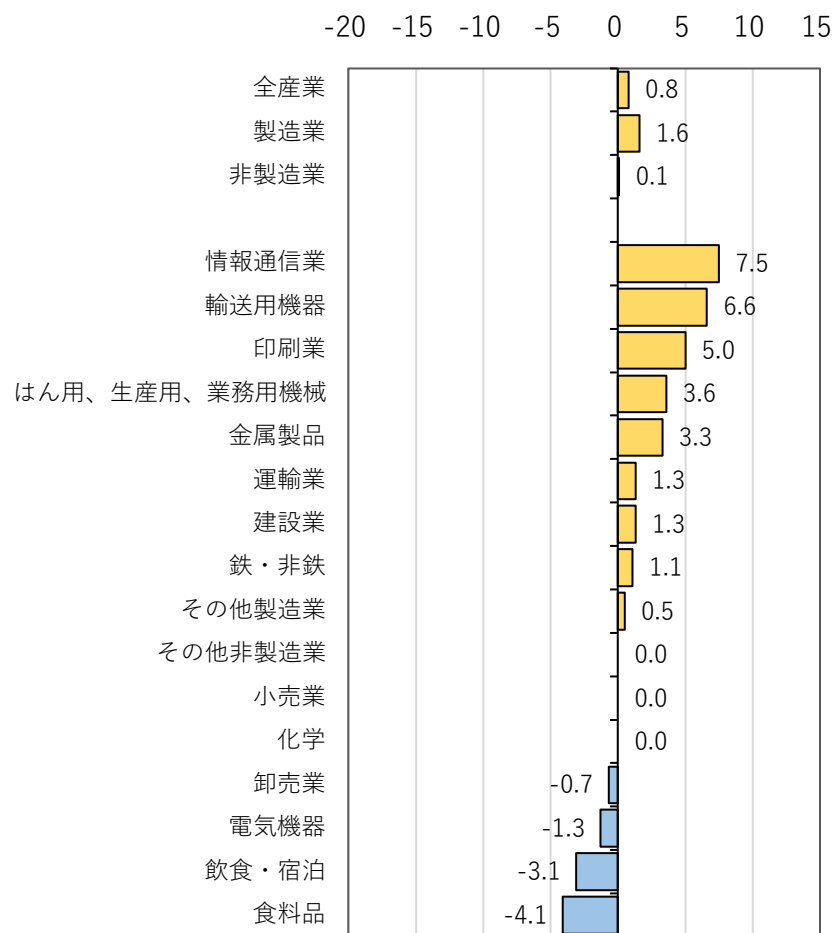


<2025年8月の景況感（前回5月調査時点の先行き、今回調査の先行きとの比較）> 12業種で5月時点の先行きよりも今回実績が好転

今回実績－前回5月時点の先行き



先行き－今回実績



<2025年8月の景況感(地域別の景況感)> 北海道、四国が「好転」超

地域名	5月	8月 [5月時点の先行き]	(8月－5月)	先行き	回答数(8月)	構成比 (%)	
						製造業	非製造業
全国	46.5	47.7 [45.6]	+1.2	48.5	(2,426)	44.9	55.1
北海道	50.0	55.3 [52.3]	+5.3	52.3	(66)	19.7	80.3
東北	44.9	49.2 [49.7]	+4.3	47.3	(188)	30.9	69.1
関東	47.3	46.5 [45.3]	-0.8	48.6	(695)	44.7	55.3
甲信越	46.2	47.1 [48.9]	+0.9	46.8	(156)	56.4	43.6
東海	45.8	47.8 [43.6]	+2.0	49.0	(292)	57.9	42.1
北陸	46.3	43.8 [45.6]	-2.5	43.8	(105)	51.4	48.6
近畿	44.8	47.0 [42.6]	+2.2	48.3	(380)	51.1	48.9
中国	46.1	48.1 [45.5]	+2.0	50.8	(187)	43.9	56.1
四国	44.6	53.3 [45.8]	+8.7	50.0	(90)	37.8	62.2
九州・沖縄	49.0	48.3 [45.5]	-0.7	48.7	(267)	33.0	67.0

(注) 全国ベースで調査対象企業の抽出を行っているため、地域ごとの業種構成は考慮していない。
そのため、各地域間の比較や、全国と各地域を比較する際は注意を要する。

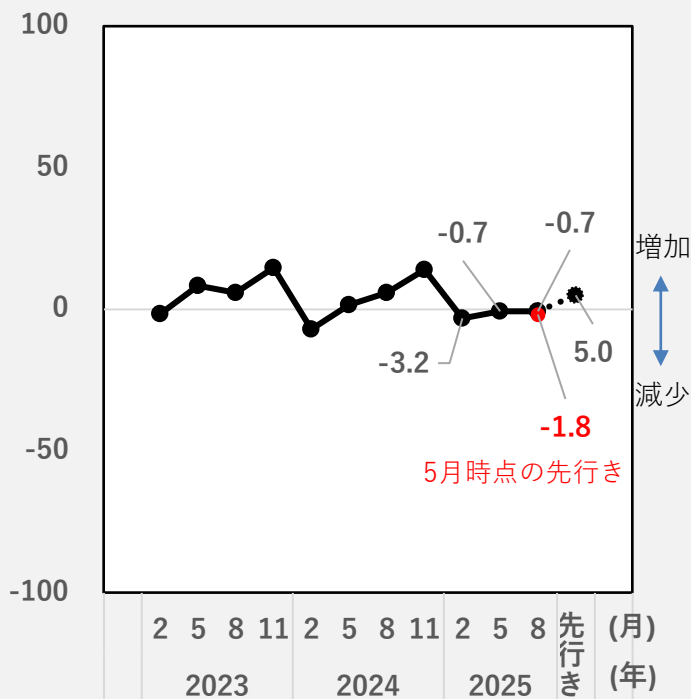
2. 業況判断

～【資金繰り】全産業で「悪化」超幅は小幅に拡大見込み

<2025年8月の業況判断>

【売上】製造業では「減少」超、非製造業は「増加」超が続く

売上DI（全産業）



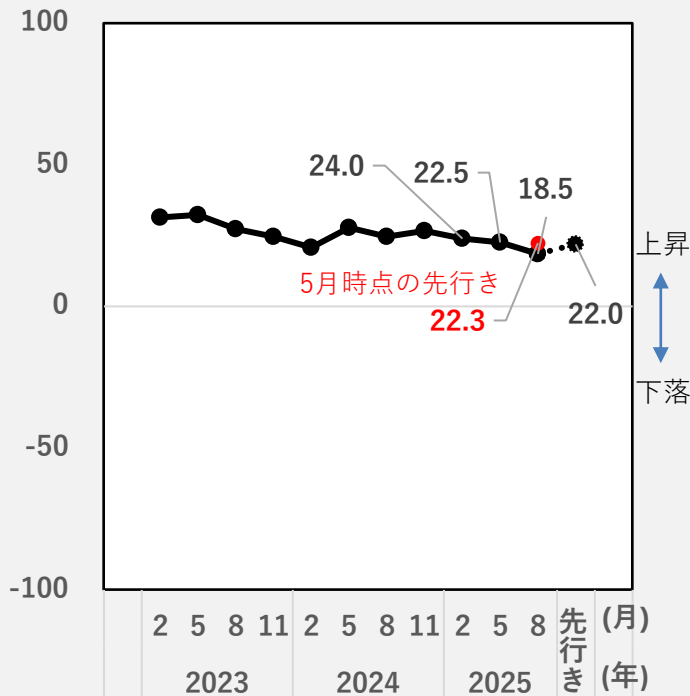
	25年5月	25年8月 [5月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 0.7	▲ 0.7 [▲1.8]	5.0
製造業	▲ 6.6	▲ 10.3 [▲4.8]	0.4
非製造業	4.2	7.2 [0.7]	8.7
食料品	14.8	9.0 [18.0]	9.2
化学	4.2	▲ 15.3 [2.8]	▲ 7.1
鉄・非鉄	▲ 7.5	▲ 10.6 [▲7.5]	▲ 5.3
印刷業	▲ 15.2	▲ 12.0 [▲2.2]	2.0
金属製品	▲ 12.2	▲ 18.4 [▲11.6]	▲ 1.1
はん用、生産用、業務用機械	▲ 7.8	▲ 15.2 [▲10.0]	▲ 3.2
電気機器	2.7	▲ 3.8 [▲12.2]	▲ 5.0
輸送用機器	▲ 17.1	▲ 18.0 [▲16.2]	4.9
その他製造業	▲ 14.2	▲ 6.9 [▲2.3]	3.7
建設業	10.9	0.0 [6.2]	10.4
卸売業	▲ 4.8	0.5 [▲5.4]	4.0
小売業	▲ 2.0	5.8 [▲8.7]	6.8
運輸業	14.7	11.8 [10.9]	15.4
飲食・宿泊	16.1	26.8 [10.8]	15.0
情報通信業	3.0	▲ 18.2 [3.1]	0.0
その他非製造業	1.6	8.6 [▲3.9]	3.1

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2025年8月の業況判断>

【販売価格】「上昇」超幅は縮小

販売価格DI（全産業）



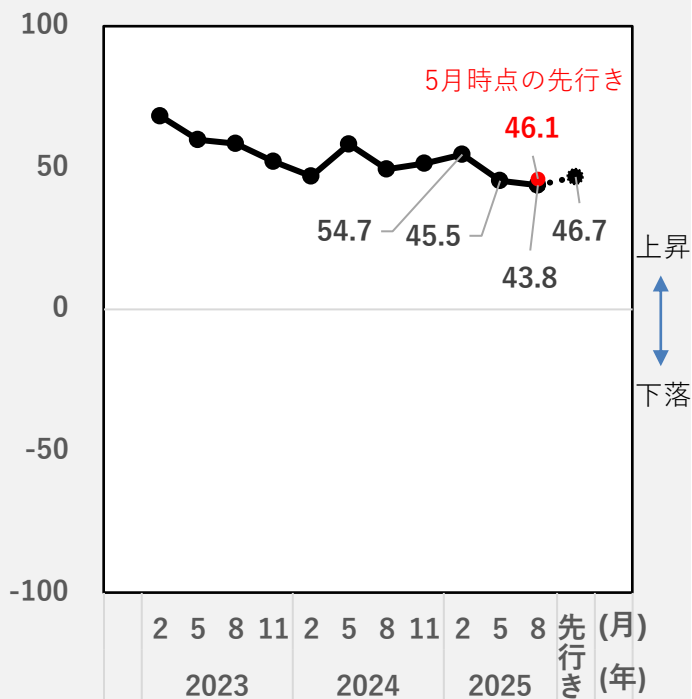
	25年5月	25年8月 [5月時点の先行き]	先行き
全産業	22.5	18.5 [22.3]	22.0
製造業	18.2	14.3 [19.6]	18.9
非製造業	26.1	22.0 [24.6]	24.5
食料品	37.2	31.6 [40.5]	50.0
化学	22.2	11.8 [15.3]	12.0
鉄・非鉄	1.3	▲ 1.1 [▲ 8.8]	▲ 1.1
印刷業	14.9	10.0 [14.9]	16.3
金属製品	11.2	7.8 [10.0]	6.1
はん用、生産用、業務用機械	14.9	10.1 [22.7]	8.2
電気機器	26.7	17.5 [25.3]	26.3
輸送用機器	9.5	18.0 [18.1]	21.3
その他製造業	23.2	17.9 [26.6]	26.8
建設業	23.1	13.2 [23.1]	18.2
卸売業	24.9	21.3 [24.1]	23.9
小売業	21.9	32.3 [22.4]	34.4
運輸業	27.5	14.9 [23.4]	19.7
飲食・宿泊	38.7	40.7 [33.3]	31.9
情報通信業	30.3	9.1 [28.1]	18.2
その他非製造業	23.6	21.7 [26.0]	24.8

（DIの定義は資料末尾に記載）

<2025年8月の業況判断>

【仕入価格】製造業・非製造業ともに「上昇」超幅が僅かに縮小

仕入価格DI（全産業）



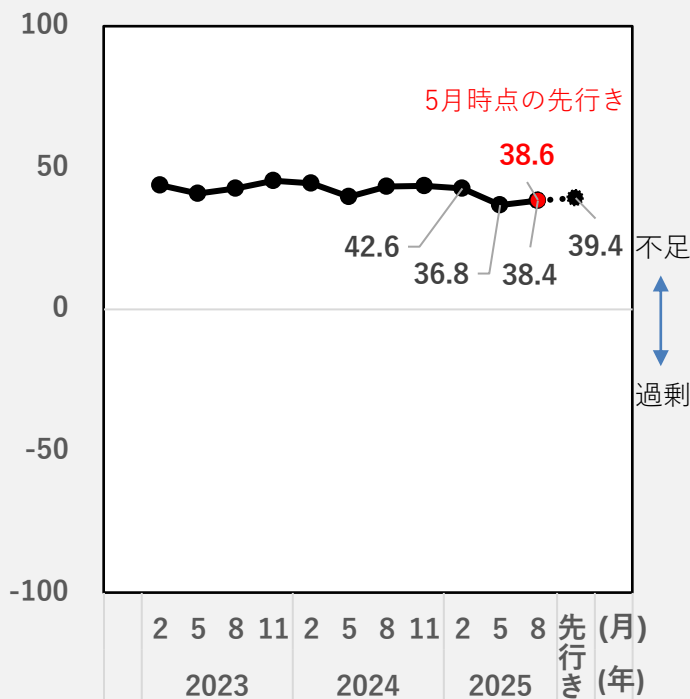
	25年5月	25年8月 [5月時点の先行き]	先行き
全産業	45.5	43.8 [46.1]	46.7
製造業	40.6	37.5 [42.6]	40.6
非製造業	49.6	48.9 [49.1]	51.7
食料品	66.9	66.2 [66.1]	66.2
化学	33.3	21.2 [38.9]	36.5
鉄・非鉄	16.3	17.0 [12.7]	14.9
印刷業	63.8	50.0 [66.0]	61.2
金属製品	36.5	32.0 [42.1]	32.0
はん用、生産用、業務用機械	44.7	38.6 [44.0]	39.2
電気機器	42.7	48.8 [46.7]	53.2
輸送用機器	24.5	30.3 [30.2]	31.1
その他製造業	40.1	35.8 [40.1]	42.1
建設業	47.7	48.1 [47.7]	54.5
卸売業	39.6	37.6 [40.9]	41.4
小売業	38.8	43.9 [41.3]	44.4
運輸業	58.4	51.2 [52.0]	55.6
飲食・宿泊	77.4	82.3 [75.3]	77.9
情報通信業	54.5	36.4 [59.4]	48.5
その他非製造業	52.0	55.3 [55.9]	56.5

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2025年8月の業況判断>

【雇用状況】製造業・非製造業ともに「不足」超幅が僅かに拡大

雇用状況DI（全産業）



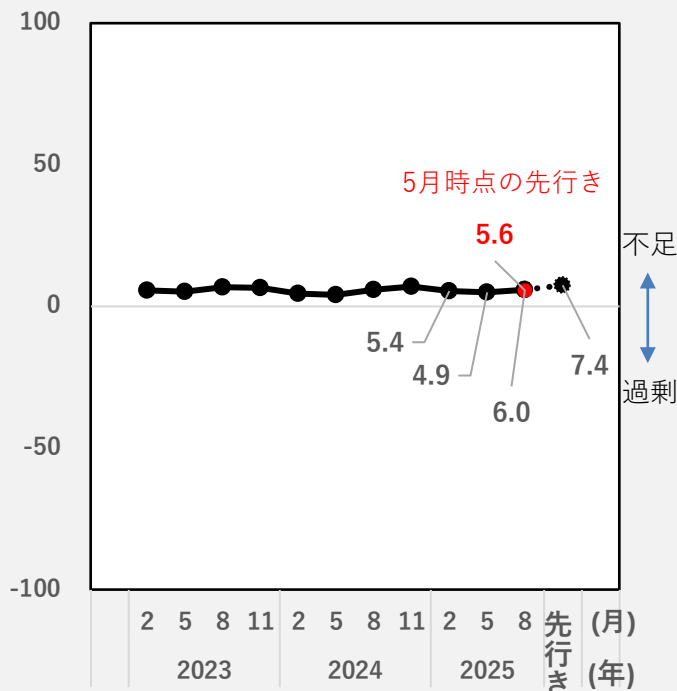
	25年5月	25年8月 [5月時点の先行き]	先行き
全産業	36.8	38.4 [38.6]	39.4
製造業	24.8	26.9 [26.5]	26.8
非製造業	46.9	47.9 [48.7]	49.7
食料品	41.8	39.8 [39.3]	40.6
化学	40.3	41.2 [41.7]	35.3
鉄・非鉄	33.8	33.0 [33.8]	35.1
印刷業	17.0	22.4 [34.0]	20.8
金属製品	20.9	19.2 [20.3]	21.3
はん用、生産用、業務用機械	22.0	27.8 [22.1]	28.5
電気機器	1.3	13.8 [2.7]	12.5
輸送用機器	17.9	17.4 [21.0]	18.2
その他製造業	25.0	27.4 [29.0]	25.8
建設業	53.8	53.2 [47.7]	53.2
卸売業	28.5	28.5 [31.4]	31.2
小売業	55.6	55.8 [57.7]	55.9
運輸業	62.7	62.4 [61.5]	63.9
飲食・宿泊	53.8	60.2 [62.4]	62.5
情報通信業	24.2	24.2 [37.5]	30.3
その他非製造業	42.9	43.5 [44.9]	45.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2025年8月の業況判断>

【生産・営業用設備】小幅の「不足」超が継続

生産・営業用設備DI
(全産業)



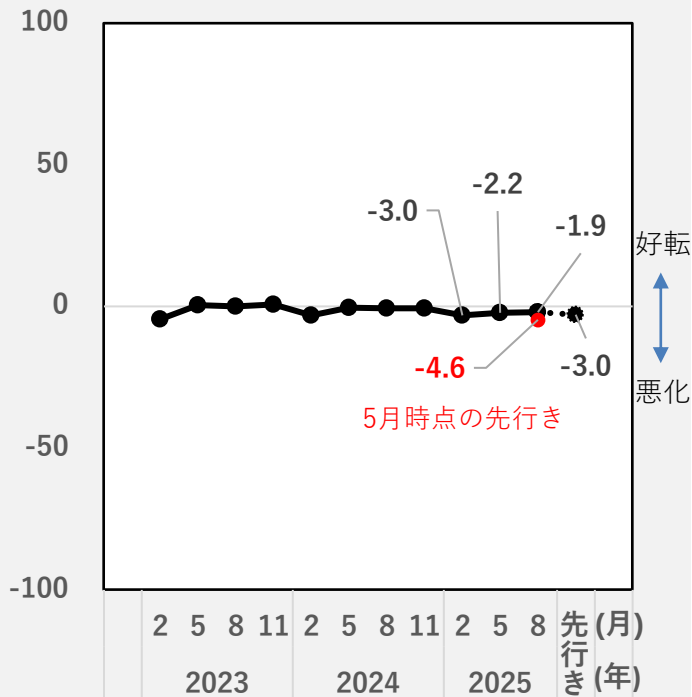
	25年5月	25年8月 [5月時点の先行き]	先行き
全産業	4.9	6.0 [5.6]	7.4
製造業	1.1	2.0 [2.3]	4.1
非製造業	8.1	9.2 [8.4]	10.2
食料品	15.6	15.0 [15.6]	18.0
化学	1.4	0.0 [9.7]	2.4
鉄・非鉄	0.0	1.1 [▲3.8]	4.3
印刷業	0.0	0.0 [4.3]	0.0
金属製品	▲ 1.2	▲ 3.9 [▲1.7]	▲ 2.2
はん用、生産用、業務用機械	▲ 1.4	▲ 1.9 [0.7]	▲ 1.3
電気機器	▲ 5.3	6.3 [▲6.8]	6.3
輸送用機器	▲ 6.6	▲ 2.5 [▲4.7]	1.7
その他製造業	3.4	4.7 [5.7]	6.9
建設業	0.0	▲ 1.3 [0.0]	1.3
卸売業	2.6	5.9 [2.9]	6.7
小売業	8.3	6.5 [8.9]	8.0
運輸業	19.3	15.9 [19.0]	17.8
飲食・宿泊	5.5	13.4 [6.6]	13.4
情報通信業	▲ 6.1	6.1 [▲6.3]	3.0
その他非製造業	5.5	7.5 [7.1]	7.0

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2025年8月の業況判断>

【資金繰り】全産業で「悪化」超幅は小幅に拡大見込み

資金繰りDI（全産業）



	25年5月	25年8月 [5月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 2.2	▲ 1.9 [▲ 4.6]	▲ 3.0
製造業	▲ 3.3	▲ 4.4 [▲ 7.5]	▲ 5.3
非製造業	▲ 1.2	0.1 [▲ 2.2]	▲ 1.1
食料品	▲ 5.7	▲ 6.8 [▲ 11.5]	▲ 6.8
化学	2.8	▲ 3.5 [▲ 1.4]	▲ 8.2
鉄・非鉄	▲ 6.3	▲ 3.2 [▲ 12.5]	▲ 4.3
印刷業	▲ 10.6	▲ 6.0 [▲ 8.5]	▲ 4.1
金属製品	▲ 3.5	▲ 3.4 [▲ 7.0]	▲ 5.6
はん用、生産用、業務用機械	▲ 5.0	▲ 8.2 [▲ 10.6]	▲ 5.1
電気機器	2.7	▲ 2.5 [▲ 4.0]	▲ 11.4
輸送用機器	▲ 1.9	▲ 6.6 [▲ 6.6]	▲ 6.6
その他製造業	▲ 2.8	▲ 0.5 [▲ 4.5]	▲ 0.5
建設業	▲ 1.5	2.6 [0.0]	▲ 1.3
卸売業	▲ 2.0	1.6 [▲ 2.0]	▲ 0.5
小売業	1.0	▲ 2.6 [▲ 4.6]	▲ 3.7
運輸業	1.3	0.5 [0.0]	1.1
飲食・宿泊	▲ 6.5	▲ 4.4 [▲ 1.1]	▲ 8.0
情報通信業	0.0	▲ 3.0 [▲ 6.3]	▲ 3.0
その他非製造業	▲ 4.8	1.3 [▲ 5.6]	0.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

(参考) 業況判断DIの定義

業況判断	各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する
DIの算出方法 (Diffusion Index の略)	①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」 ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「3.悪化」 業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合（%） DIの範囲▲100.0 ≤ 業況判断DI ≤ 100.0 ②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。 ④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。

<2025年8月の景況感・業況判断>

景況感・業況判断に関連する自由記載から

【消費者マインドに関する声】

- ✓ **酷暑**の影響か来店者が減り、受注も低調。お客様の**購買意欲の低下**を感じる。（その他製造業）
- ✓ 地方の所得増は見込めず、物価は確実に上昇。**可処分所得が減少しており、小売業界の状況は厳しい**。（小売業）
- ✓ お盆の**帰省客は予想より少なかった**。（小売業）

【製造業の動向】

- ✓ **三菱ふそうと日野自動車の経営統合**の影響は不透明。（輸送用機器）
- ✓ **日産自動車の撤退**の影響が出ている。（その他製造業）
- ✓ **SUBARUがEV車の生産体制増強に伴う工事**を実施予定。工事期間中は、**同社向けの売上が減少**する見込み。（運輸業）
- ✓ **半導体製造装置部品**は1年半程度好調であったが、10月から**減産**連絡が相次ぎ対応に追われている。（電気機器）

【人件費・価格転嫁に関するコメント】

- ✓ **最低賃金引上げ**により人件費増。**価格交渉は不調**で値上げができず、景況感は悪化。（卸売業）
- ✓ 最大の懸念は**人件費の急騰**。**最低賃金引上げと、地域的な人手不足で採用・定着コストが増加**しており、収益圧迫要因となっている。（運輸業）
- ✓ 毎年のように**最低賃金も改定**され、労働集約型の産業においては**人件費の上昇が懸念**される。中小企業にとっては厳しい経営環境が続くものと捉えている。（運輸業）
- ✓ 貨物量は6月までは対前年比減、**7月以降**僅かではあるがやや回復。荷主に対しての**値上げ交渉は継続中**であり、**貨物量が戻ってくれば良い結果につながる**と考えている。（運輸業）

<2025年8月の景況感・業況判断>

景況感・業況判断に関連する自由記載から

【金融情勢・資金調達・資金繰り】

- ✓ 売上が好転するか不透明のため、**各金融機関のスタンスが厳しい**。（輸送用機械）
- ✓ **米国関税政策の影響は不透明**。特別融資制度などを活用し、手元現預金を厚くし、激変事態に備えたい。（金属製品）
- ✓ コロナ借入の返済負担が重く、新たな資金手当が必要。（飲食・宿泊）
- ✓ 金融機関の**融資姿勢に差があり**、積極、消極に分かれる。（卸売業）
- ✓ 金融機関からの**金融商品の案内が増加傾向**。（電気機器）
- ✓ **下請法改正で、支払サイトが大幅短縮**。**資金繰り悪化の見通し**。（金属製品）

【その他】

- ✓ **ガソリンの暫定税率の動向次第では資金繰りに影響がでる可能性がある**。（卸売業）
- ✓ 現在は玄米の取引が好調であるが、令和7年産米の仕入値次第で資金繰りに影響するため、市場価格を注視している。（卸売業）
- ✓ **関東地区は営業倉庫乱立で競争激化**。**保管料は下押し圧力が強まる**。（運輸業）
- ✓ 世界経済悪化で、**設備投資は慎重にならなければ**と考え始めている。景気減速と金利上昇が設備投資欲を抑制してしまう可能性が高く、これにより鉄・非鉄業界の需要も減る可能性が高い。（鉄・非鉄）
- ✓ **需要が減少傾向**のうえ、酷暑により**生産性も低下**している。先行きに好転材料なく、低コストで生産性が向上する革新的な取り組みの必要を感じている。（金属製品）
- ✓ 景気の先行きが**不透明**であり、**設備投資を断念**するしかない。設備・建屋については金額が高騰しており手が出せない。（金属製品）

<2025年8月の景況感・業況判断>

米国関税政策の影響、対策など

【対策】

- ✓ 当初、相互関税の一時停止延長が7月に終了する予定であったため、**8月出荷分を7月に前倒し出荷**。（その他製造業）
- ✓ **米国向け製品の、原産地変更**を実施。（はん用、生産用、業務用機械）
- ✓ **自動車関連が停滞しているため、他分野への展開を検討**。（卸売業）
- ✓ **為替ヘッジ比率の引き上げを検討中**。（はん用、生産用、業務用機械）
- ✓ 資金繰りの不安回避のため、**当座貸越利用額を増額**した。（運輸業）
- ✓ 直接影響は限定的だが、円安や資源価格高騰を通じた間接影響を懸念。運行効率化や省エネ車両の導入などにより、**コスト管理を徹底**している。（運輸業）
- ✓ 関税の影響が、販売先にどの程度のインパクトを与えるかが不明であることから、現時点では**情報収集に努めている**。（運輸業）

【影響 - プラス影響&想定より悪くない - 】

- ✓ 米国からの、**コメ輸入枠拡大により、保管数量の増加**が予想される。（運輸業）
- ✓ 海外産の原料高騰が懸念されていたが、**現時点で顕著な値上がり傾向は見られない**。（卸売業）
- ✓ 米国関税政策の影響で4月以降新規受注が突然止まったが、**ひと月ほど前から徐々に年内の新規受注の話が出てくるようになった**。（その他製造業）
- ✓ 海外取引の大幅減を懸念していたが、現状は**芳しくないものの、想定より良好**。（はん用、生産用、業務用機械）

【影響 - 見えない - 】

- ✓ 直接的な影響は**いまだ見えない**。（化学）
- ✓ 北米向けの海産物が**関税の影響で減少するか否か**については、依然として**判断がつかない**。当初は楽観視していたが、**現在はやや慎重に状況を見極めている**。（その他非製造業）

<2025年8月の景況感・業況判断>

米国関税政策の影響、対策など

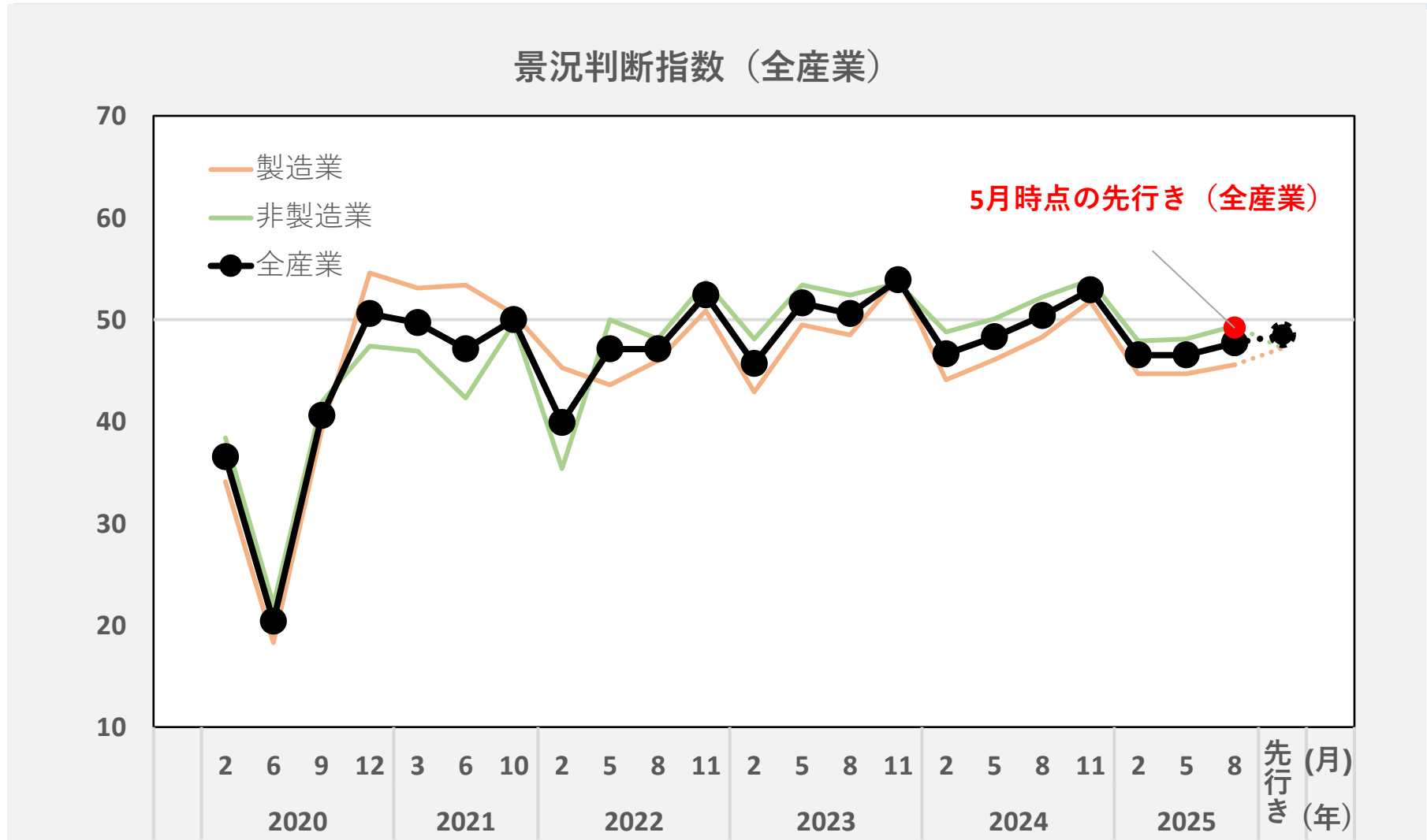
【影響 - マイナス影響 - 】

- ✓ 顧客の**設備投資計画が延期や様子見**の状態が続いている。**新規受注が減少**し、生産性向上や自動化に向けたライン改造の工事が増えている。（金属製品）
- ✓ 自動車に対する関税の影響で、**新製品の受注や計画が停止、現状の受注品も少しずつ減産**している。関税発動時期が不明であり、**新製品計画や受注がいつから好転するか不透明**。（輸送用機器）
- ✓ **仕入価格の大幅上昇を懸念**。（情報通信業）
- ✓ 自動車関連の見込みが低調であり、**今後の動向次第では、撤退も検討**する。（金属製品）
- ✓ 欧米と取引する**中国企業の日本進出の動き**が見られ、**近い将来脅威**となりうる。（卸売業）
- ✓ 弊社売上は、**各自動車メーカーの販売数に左右**されるため**大きな影響**が出ている。（輸送用機器）

【影響 - マイナス影響 - 】

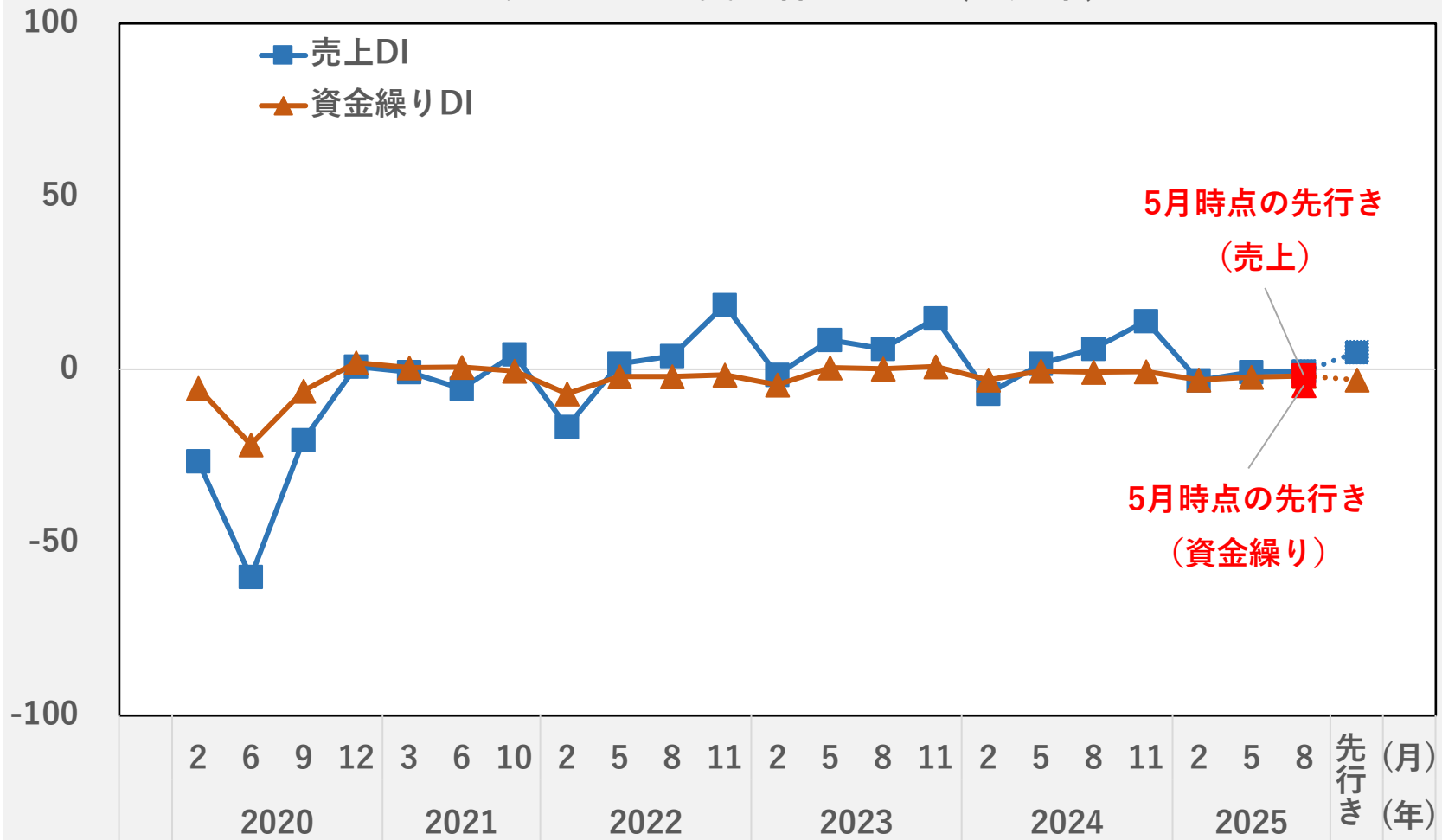
- ✓ 直接影響は少ないが、県内は自動車関連企業が多いため、関税の影響で業績が悪化し、それに伴い**地域経済全体の消費マインドが低下**することを懸念している。（小売業）
- ✓ 米国向けの輸出入は無いが、米国の通商政策の影響で**一部の顧客（主にアジア圏で米国向け輸出入を行っている企業）は先行きへの不安からか、購入意欲の減退**が顕著にみられる。（その他製造業）
- ✓ **台湾の関連会社の米国向け輸出に影響**が出ている。（金属製品）
- ✓ 顧客の**自動車メーカーから、仕入れ先を米国内に変更**するように依頼を受けている。（卸売業）

(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (景況判断指数)

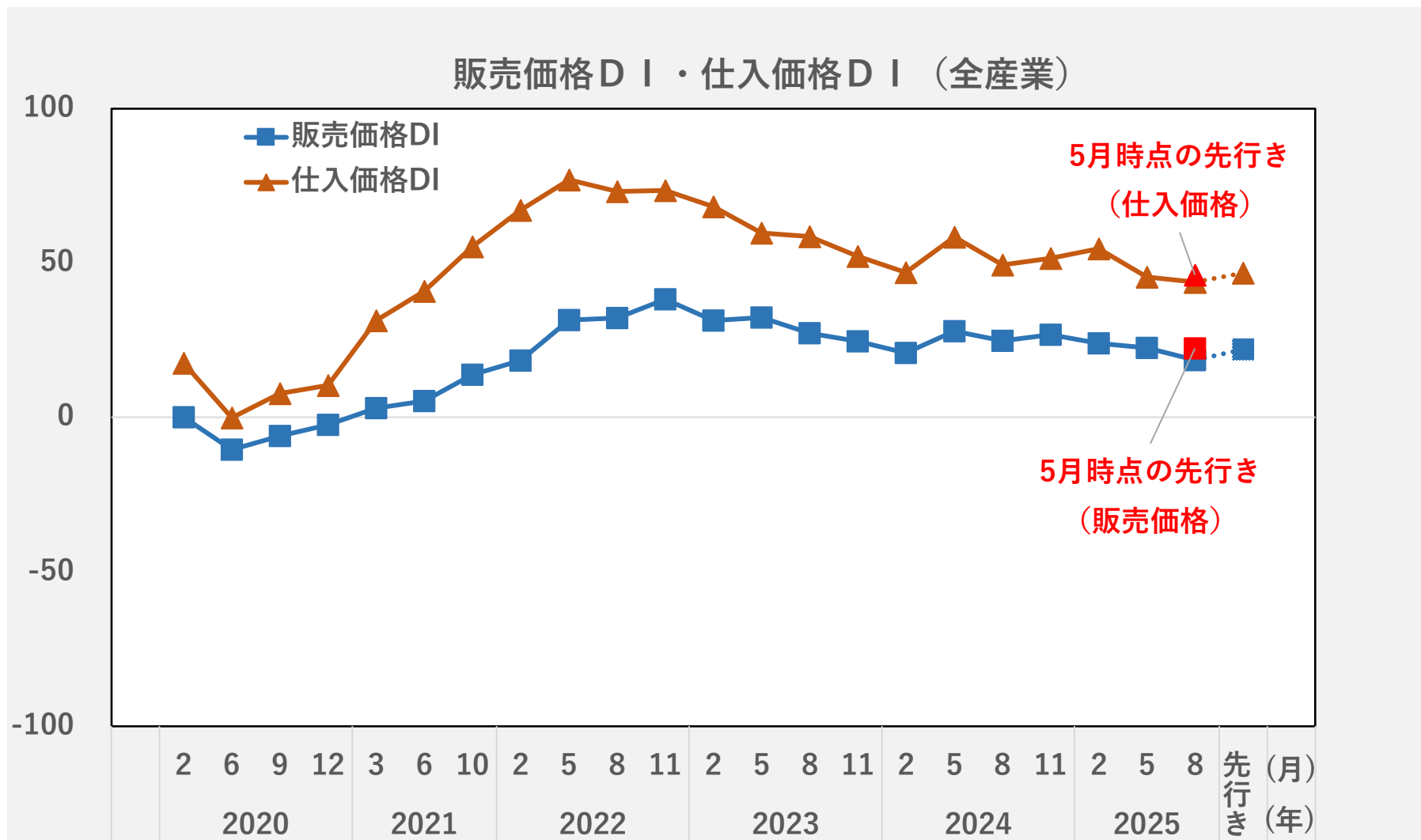


(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (売上、資金繰り)

売上DI・資金繰りDI (全産業)

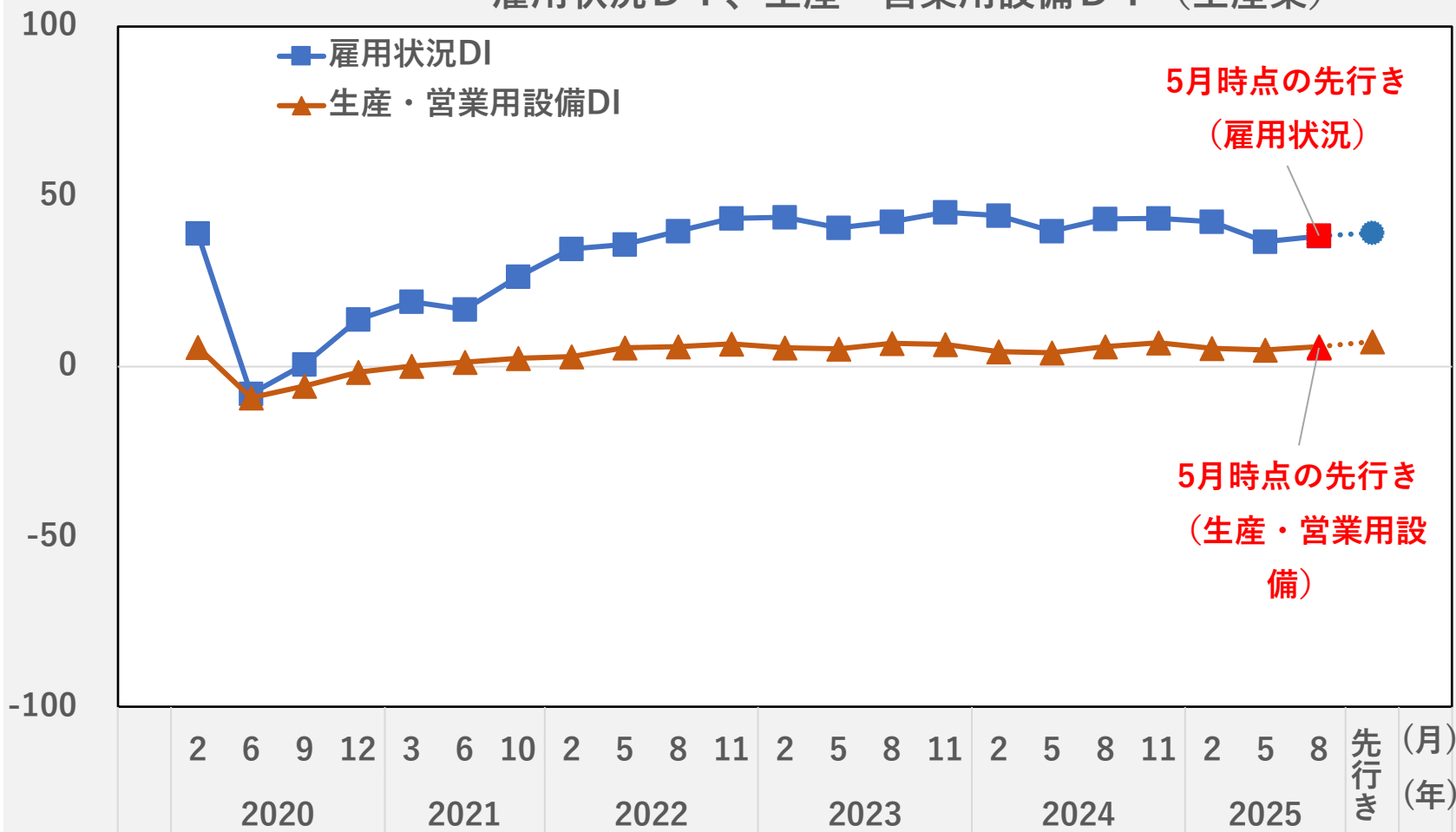


（参考）第1回調査からの長期時系列推移（販売価格、仕入価格）



（参考）第1回調査からの長期時系列推移（雇用状況、生産・営業用設備）

雇用状況DI、生産・営業用設備DI（全産業）





人を思う。未来を思う。

商工中金